

2月定例会は26日に開会し、3月21日に閉会しました。補正予算10、当初予算9、条例18、一般4、人事1の計42議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。
平成25年度の一般会計当初予算は前年度に比べ24億円増の852億円となりました。

平成25年度の施政方針

背景

◆ 昨年の政権交代以降、輸出環境の改善や経済対策の効果などを背景に、再び景気回復へ向かうことが期待されるものの、国内産業の後退の影響や雇用・所得環境の停滞など、依然として国民生活の不安が続いている。

◆ 本市でも生活保護者数が毎月過去最高を更新し、また、待機児童数が毎年増加するなど、市民生活の不安が続いている。



「市民の生活」を最優先

I 安心・安全を一番に（暮らしやすい地域に）

○ 市民生活の目線に立ったきめ細かな取り組みを強化し、「防災・減災体制の強化」や「環境」「福祉」の充実に取り組む。

II 地域力アップ（夢のある地域への再生）

○ 地域内外からの集客力の向上を図るため、地域の資源を磨き上げ、活気にあふれる「賑わうまち」を創出する。

III 教育の充実（まちづくりは人づくり）

○ 子どもたちは「佐賀市の宝」であるとの想いのもと、子育てから学校教育までの一貫した取り組みを展開する。特に次世代を担う子どもたちの「確かな学力」を育てる。

平成25年度の予算総額

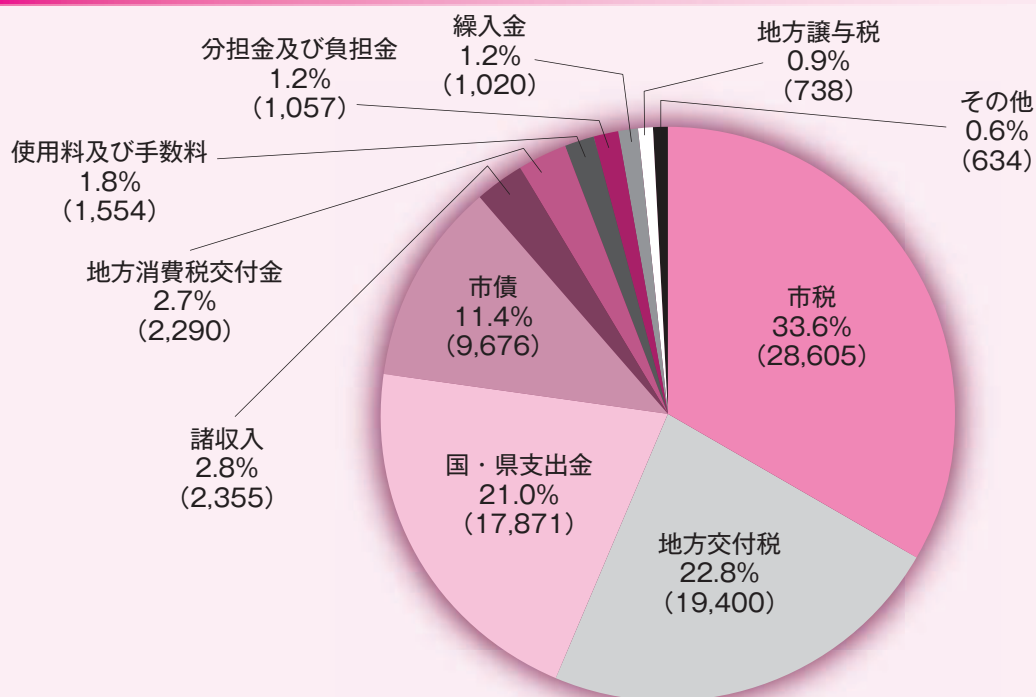
一般会計	852億円
特別会計 (国民健康保険など3会計)	321億円
自動車運送事業	11億4,000万円
水道事業	56億 200万円
下水道事業	136億8,600万円
工業用水道事業	1,100万円
富士大和温泉病院事業	18億9,200万円

平成25年度当初予算一般会計の状況

（単位：百万円）

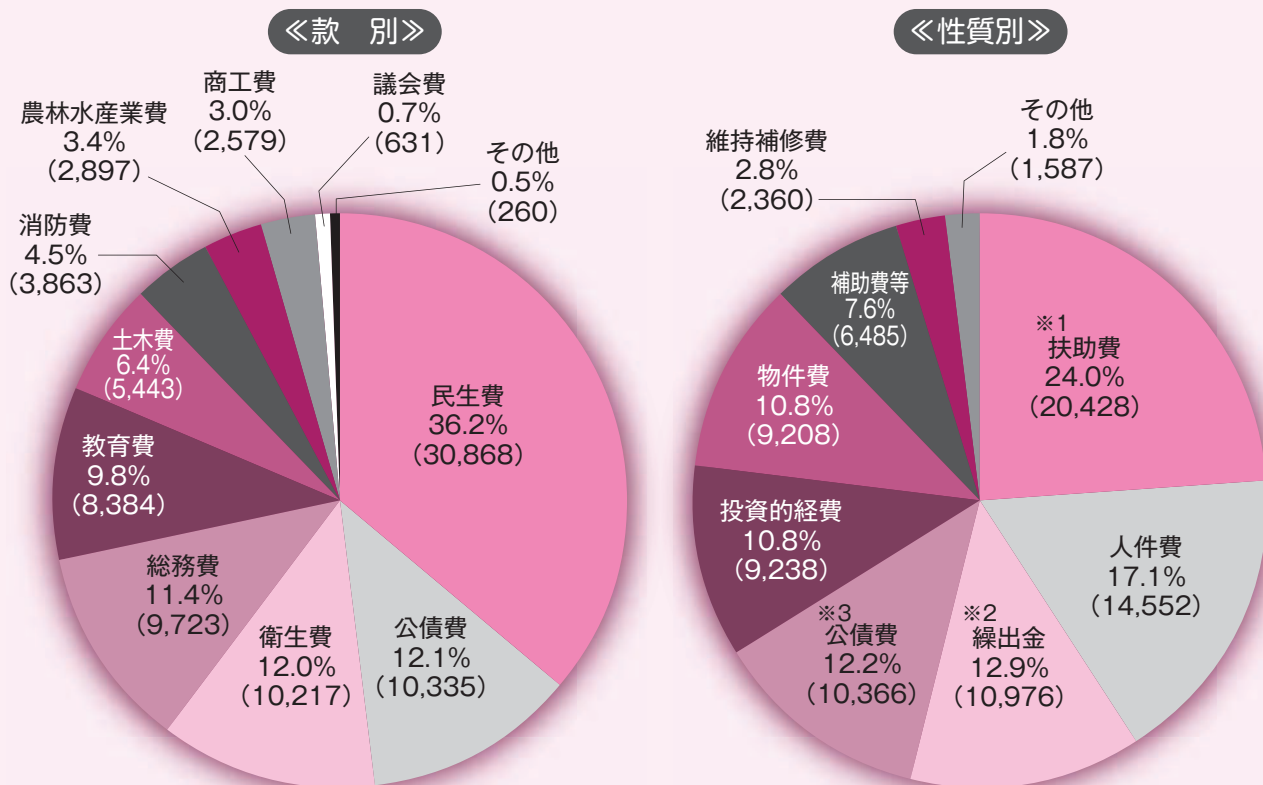
【歳入】

〔歳入総額 852億円〕



【歳出】

〔歳出総額 852億円〕



※端数処理のため構成比が一致しない場合がある。

- ※1 扶助費…最低限の生活維持を図るための支出
例) 生活保護費、障がい者の自立支援費、
子どもの医療費
- ※2 繰出金…一般会計と特別会計又は特別会計相互間の
予算のやりとり（充用）
- ※3 公債費…借金返済のための支出

平成25年度当初予算主要事業

★は新規事業

〔防災・危機管理対策の充実〕

☆佐賀県消防操法大会出場経費

613万円

・消防団の大会出場に要する経費

☆消防施設等整備事業 1億7093万円

・消防格納庫、ポンプ積載車、消火栓等の整備経費

☆自主防災組織育成強化事業 1542万円

・自主防災組織の新規結成促進及び既存組織の活動の活性化に要する経費

☆防災備蓄整備経費 6481万円

・拠点備蓄倉庫及び非常用食品、生活用品等の防災備蓄品の整備に要する経費

★防災パンフレット作成経費 262万円

・新たな防災総合システムの運用開始に伴い、避難発令方法等を周知・広報するための防災パンフレットの作成、全戸配布に要する経費

★緊急輸送路確保事業 1000万円

・長崎自動車道金立サービスエリアに接続する緊急輸送路の設置に要する経費

☆防災総合システム整備事業

3億3885万円

・防災行政無線の一元化・デジタル化及びその他システム等との連携を図るための防災総合システム整備に要する経費

☆佐賀中部広域連合消防負担金

28億7450万円

・常備消防負担金

☆佐賀駅耐震補強補助事業 7166万円

・JR九州が行う佐賀駅の耐震補強工事に對する補助経費

☆排水対策基本計画策定経費

1343万円

・総合的な排水対策に係る基本計画の策定に要する経費

☆河川改修事業 2億9930万円

・都市基盤河川三間川、準用河川城東川の改修経費

〔効果的・効率的な行政経営の推進〕

★文書管理システム開発経費

1509万円

・公文書の発生から保存、廃棄までを電子的に管理するシステム開発に要する経費

（平成25年度から平成26年度までの債務負担行為限度額）

4095万円

★財務会計システム開発経費

2787万円

・予算の編成・執行・決算等を管理するシステムの更新・開発に要する経費

（平成25年度から平成27年度までの債務負担行為限度額）

1億1130万円

☆庁舎耐震・大規模改修事業

6億4335万円

・本庁舎の工事に要する経費

（平成25、26年度継続費）

継続費総額 16億1446万円

☆水道事業会計関係経費

1億2800万円

・一般会計から水道事業会計への繰出金

☆水道料金不均衡対策経費 4768万円

・川副・東与賀・久保田地区の水道料金不均衡対策のための各水道企業団に対する負担金

☆防犯灯設置助成事業 1386万円

・地区自治会等で設置を行っている防犯灯の新設・維持・LED化に係る費用に對する助成経費

☆消費者保護推進事業 1429万円

・多重債務者救済等の消費者保護に関連する相談業務、啓発等に要する経費

〔総合交通体系の確立〕

☆生活バス路線関連経費 3億953万円

・生活バス路線確保のための交通局等に對する繰出金・補助金等

☆都市間バス路線等運行対策経費 4281万円

・民間交通事業者への都市間広域バス路線及び生活バス路線の運行に對する補助経費

〔魅力ある文化の醸成〕

☆柳町地区歴史的建造物等活用事業 2605万円

・旧久富家住宅及び森永家住宅の公開・活用に向けた基本設計及び実施設計に要する経費

☆世界遺産登録推進事業 2193万円

・三重津海軍所跡の世界遺産登録に向けた広報及び整備構想の検討等に要する経費

☆世界遺産登録推進事業 2310万円

・三重津海軍所跡の世界遺産登録へ向けた出土遺物分析及び文献調査等に要する経費

☆佐賀城天守台発掘調査経費

2014万円

・佐賀城築城400年を契機とした、天守台等の確認調査・文献調査、佐賀城に関する講演会の開催等に要する経費

〔協働と市民活動の推進〕

☆地域コミュニティ推進事業

2277万円

・多様化した地域の課題をその地域と行政が一体となって解決する仕組みを構築し、住民自身の手によるまちづくりを進めるための経費

☆グレンズフォールズ市交流25周年記念事業 525万円

・グレンズフォールズ市及びウォーリン郡との姉妹都市締結25周年を記念した公式訪問及び市民訪問団の派遣に要する経費

☆市民活動応援事業 1278万円

・市民活動団体が実施する公益的事業の充実を図るための活動支援に要する経費

☆自治公民館建設補助事業 900万円

・自治公民館の建設に係る経費に對する補助経費

〔効果的・効率的な行政経営の推進〕

☆自治基本条例制定検討経費 387万円

・条例制定の検討に要する経費

★総合計画策定事業 1295万円

・平成27年度以降における新たな総合計画（第2次総合計画）の策定に要する経費

★遠隔相談支援事業 171万円

・市民サービスの向上を目的として、支所窓口及び本庁に遠隔相談支援システムを

設置するための経費

【観光の振興】

☆アジアの観光客誘致事業 2000万円
・中国、韓国を始めとするアジア地域からの観光誘客促進に要する経費

★バルーンミュージアム整備事業 400万円

・整備に向けた基本構想策定経費

☆南部地域観光拠点整備事業 1億2489万円

・諸富鉄橋展望公園周辺を整備するための経費

★大隈重信旧宅保存修理事業 170万円

・老朽化に伴う部分修理及び大規模補修に向けた耐震予備診断に要する経費

★熱気球世界選手権大会誘致事業 450万円

・平成28（2016）年の第22回熱気球世界選手権大会の開催に向けた誘致活動に要する経費

☆佐賀城公園整備事業（県営事業負担金） 9304万円

・整備等に伴う県営事業負担金

【商工業の振興】

☆首都圏・海外販路開拓強化事業 1016万円

・物産販売協力店の運営を始めとした首都圏の販路開拓、及びアジアを中心とした海外販路開拓に要する経費

☆産業支援相談事業 702万円

・中小企業者等からの各種相談に対し、助言や支援制度の紹介等を行うための経費

☆工業用水道事業会計繰出金 451万円

・一般会計から工業用水道事業会計への繰出金

【中心市街地の活性化】

★恵比須ステーション設置支援事業 563万円

・恵比須の歴史や魅力を紹介する情報発信拠点を設置する団体への支援経費

☆サガ・ライトファンタジー事業 4500万円

・大規模リニューアルに伴うサガ・ライトファンタジー開催のための支援経費

☆街なか再生計画推進事業 1650万円

・エスプラッツ、佐賀玉屋、佐嘉神社・微古館、呉服町・柳町を4核とした街なか再生計画に基づく、空き店舗再生やコミュニティ活動の育成等に要する経費

【都市緑化の推進】

★徐福長寿館改修事業 300万円

・リニューアルに向けた基本構想策定経費
★神水川公園維持管理経費 2200万円
・新たに整備した神水川公園の管理運営に要する経費

★都市公園施設長寿化計画策定経費 2137万円

・都市公園施設の長寿化計画策定及び公園施設管理システム導入に要する経費

【農林水産業の振興】

☆耕種作物共同利用施設整備事業 4625万円

・米の共同乾燥調製施設内の設備整備を行う佐賀県農業協同組合に対する助成経費
☆そよかぜ館改修事業 1594万円
・「道の駅大和」そよかぜ館の老朽化に伴う改修に要する経費

★森林・林業再生拠点づくり事業 2億2169万円

・木材加工施設を整備する富士大和森林組合に対する助成経費

☆森林整備加速化・林業再生事業 6562万円

・森林組合が実施する間伐、作業路整備及び富士大和森林組合が実施する高性能林業機械整備に対する助成経費

★森林セラピスト育成事業 74万円

・森林内の遊歩道を案内する人材の育成等に要する経費

【農業振興地域の保全】

★水草除去強化支援事業 700万円

・農業者が行う水草除去活動に対する助成及び新種の水草の防除対策に要する経費

☆農業振興地域保全事業 300万円

・耕作放棄地解消のための取組みを行う地域耕作放棄地対策協議会に対する助成経費

【森林の保全】

★荒廃森林整備事業 300万円

・荒廃又はそのおそれのある森林における間伐等の森林施業に要する経費

【道路ネットワークの充実】

☆兵庫小学校西線外道路整備事業 3億4448万円

・兵庫小学校西線外11路線の整備経費
☆通学路緊急合同点検対策実施事業 2030万円

・小学校通学路（3路線）の危険箇所改修に要する経費
☆橋りょう長寿命化事業 6800万円
・橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋長15m以上の橋りょうの詳細調査・修繕設計及び橋長15m未満の橋りょうの長寿命化修繕計画策定に要する経費

☆大財藤木線街路整備事業 4億300万円
・大財藤木線の整備経費
・都市計画街路大財藤木線工事委託料

平成25年度から平成26年度までの
債務負担行為限度額
10億6000万円

☆街路整備事業（県営事業負担金） 2億9550万円

・街路（与賀町鹿子線外）整備に伴う県営事業負担金

【住宅環境の充実】

☆住宅リフォーム緊急助成事業 1億1783万円

・住宅の性能向上等のためのリフォーム工事に對する補助経費

☆道崎団地建替事業 3億6429万円
（平成25～26年度継続費）

・継続費総額 10億4840万円

【環境の保全】

★空き家等適正管理事業 933万円

・危険な状態にある空き家等の適正な管理を図るための経費

☆太陽光発電システム設置支援事業 7390万円

・住宅や自治公民館への太陽光発電設備設置に対する補助経費
☆洞鳴の滝小水力発電活用事業 1544万円

・三瀬地区洞鳴の滝周辺に所在する水車小屋を小水力発電を活用した環境教育の場として整備するための設計等に要する経費
★汚泥搬出設備整備事業 3500万円
・し尿処理施設において発生する汚泥等を清掃工場へ搬出するために必要なホッパーの整備経費

☆下水道事業会計繰出金 27億6400万円
・一般会計から下水道事業会計への繰出金

〔循環型社会の構築〕

★清掃工場バイオマスエネルギー活用促進事業 3115万円

・ごみ焼却施設から純度の高い二酸化炭素を回収する技術と回収した二酸化炭素の利活用方法の調査研究に要する経費

☆焼却炉等維持管理運営経費 16億5136万円

・清掃工場、リサイクルプラザ、最終処分場等の運転・維持管理経費

〔地域福祉の充実〕

☆災害時要援護者避難支援対策事業 557万円

・災害時要援護者ごとの個別支援計画作成など制度推進に要する経費

★地域福祉の担い手づくり事業 69万円

・見守り、声掛け、ちょっとした手助けなどを行う地域福祉の新たな担い手づくりに向けた準備経費

〔高齢者福祉の充実〕

★シルバー人材センター助成事業（市民生活ガイド支援センター設置助成） 200万円

・市民生活ガイド支援センター（仮称）事業に対する助成経費

☆高齢者バス優待乗車券購入助成経費 1億7266万円

・交通局及び昭和自動車株式会社が発行する高齢者バス優待乗車券を購入する高齢者に対する助成経費

☆佐賀中部広域連合介護保険負担金 27億2189万円

・介護給付費に対する負担金

☆二次予防事業 1億2726万円

・要介護状態になる可能性のある高齢者を対象とした、元氣アップ教室等の介護予防事業に要する経費

☆後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金 23億8616万円

・療養給付費に対する負担金

☆後期高齢者医療特別会計繰出金 6億9676万円

・一般会計から後期高齢者医療特別会計への繰出金

☆後期高齢者医療特別会計 (27億8694万円)

〔障がい者の自立支援〕

☆発達障がい者等支援システム構築事業 1336万円

・発達障がい児（者）への早期からの支援の充実や支援に携わる各分野の関係者の連携強化など、ライフステージに応じた一貫した支援体制の構築に要する経費

★障がい者就労施設等販路拡大支援事業 1137万円

・授産商品等の販路拡大に向けた商品開発・販売促進等の取組みに対する助成経費

★在宅障がい者就職支度金給付事業 54万円

・一般企業等への就職に際して就職支度金を給付するための経費

☆障害者自立支援給付事業 38億1045万円

・障がい者の介護・訓練サービス、自立支援医療等の給付経費

〔健康への支援〕

☆妊婦健康診査経費 1億9665万円

・妊婦健康診査を14回実施するための経費

☆ラジ&ウォーク推進事業 386万円

・ラジオ体操、ウォーキングをツールとした市民の自主的な健康づくりの推進に要する経費

☆自殺予防普及啓発事業 253万円

・メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」の普及など、うつ等の早期発見・早期相談・受診に関する啓発等を行うための経費

☆がん検診推進事業 1億9745万円

・各種がん検診の実施及び受診勧奨等に要する経費

☆予防接種経費 7億1081万円

・子どもの予防接種及び高齢者インフルエンザ予防接種の実施に要する経費

☆国民健康保険特別会計繰出金 17億2002万円

・一般会計から国民健康保険特別会計への繰出金

☆国民健康保険特別会計 (292億1014万円)

〔地域医療の充実〕

☆国民健康保険診療所特別会計繰出金 3627万円

・一般会計から国民健康保険診療所特別会計への繰出金

☆国民健康保険診療所特別会計 (1億296万円)

☆富士大和温泉病院事業会計繰出金 3億4195万円

・一般会計から富士大和温泉病院事業会計への繰出金

〔生活困窮者の自立支援〕

★若年者就労意欲喚起等支援事業 426万円

・引きこもり等の問題を抱えた生活困窮世帯の若年者の生活改善に向けた家庭訪問等による支援経費

☆生活保護費 51億3000万円

〔子育て支援の充実〕

☆児童手当支給事業 39億7937万円

・児童手当の支給に要する経費

☆子どもの医療費助成事業 4億5811万円

・0歳から中学生までの子どもの医療費の助成に要する経費

〔子育て支援の充実〕

☆児童クラブ館整備事業 6310万円

・兵庫児童クラブ館の整備に要する経費

☆私立保育園整備助成経費 1億1908万円

・認可保育施設を開設予定の江楠学園保育園（仮称）の施設整備に対する補助経費

☆認定こども園事業助成経費 1億円

・幼稚園型認定こども園が行う保育事業に対する補助経費

〔就学前からの教育の充実〕

☆学校校舎等建設事業 15億7464万円

・校舎等改築事業3小学校・2中学校、校舎等大規模改築事業4小学校、屋内運動場改築事業2小学校

☆特別支援教育推進事業 1億6532万円

・生活指導員の全校配置等に要する経費

☆就学援助費 2億4567万円

・要保護・準要保護家庭の児童生徒に対する就学援助経費

★ICT教育環境整備事業 3億6349万円

・市内小中学校の全普通教室等における電子黒板等の整備及びICT支援員配置に要する経費

★学校給食施設整備事業 1640万円

・学校給食施設の改築に係る標準設計作成に要する経費

〔生涯学習の推進〕

☆公民館等施設整備事業

4億7601万円

・神野及び新栄公民館、春日北コミュニティセンターの整備に要する経費

☆三重津海軍所跡国史跡指定記念事業

274万円

・世界遺産登録を目指す三重津海軍所跡の企画展を佐野常民記念館において行うための経費

〔市民スポーツの充実〕

☆健康運動センター拡張整備事業

7億2400万円

・健康運動センターを拡張し、天然及び人工芝のサッカー場等を整備するための経費

☆さが桜マラソン大会開催経費

2147万円

・平成25年度にフルマラソンとして開催する大会の開催関連経費

☆全国高等学校総合体育大会開催経費

1293万円

・北部九州4県で開催される全国高校総体の開催関連経費

〔文化芸術活動の振興〕

★市民芸術祭開催事業

1050万円

・文化振興基本計画に基づき市民芸術祭を開催する実行委員会に対する補助経費

〔効果的・効率的な行政経営の推進〕

☆市長及び市議会議員選挙関連経費

1億9211万円

・任期満了に伴う市長及び市議会議員選挙に要する経費

☆参議院議員通常選挙関連経費

8042万円

・任期満了に伴う参議院議員通常選挙に要する経費

平成24年度一般会計補正予算・条例

今回の補正予算は、緊急な措置を要する事業の経費のほか、決算見込み等による補正措置を講じています。

その主なものは、国民健康保険特別会計の収支不足等に対する繰出金、定年前退職者の見込み増による退職手当、企業立地支援事業費などです。

また、国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」に伴う補正予算措置に呼応し、防災対策の推進を図るために必要な事業などについて補正措置を講じています。

その財源については、地方交付税、国庫支出金、諸収入等で措置し、予備費により収支の調整をしています。

今回の補正予算の総額は、約10億2500万円の増額で補正後の予算総額は、約874億1200万円となり、前年度同期に比べ、4・3%の減となります。

◎一般会計補正予算の主なもの

退職手当

3億9186万円

定年前退職予定者の増等による退職手当の増です。

企業立地支援事業

3891万円

企業立地に伴う補助金です。

国民健康保険特別会計繰出金

3億9455万円

国民健康保険特別会計の収支不足等に対する一般会計からの繰出金です。

◎条例の主なもの

佐賀市空き家等の適正管理に関する条例

条例

倒壊のおそれ又は火災、犯罪等を誘発するおそれのある空き家や空き地について、所有者や管理者の責務を明確にし、適正な管理を促すものです。

職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例

国家公務員退職手当法が改正され、国家公務員の退職手当が段階的に引き下げられることを受け、本市においても国に準じ、平成25年度から職員の退職手当を段階的に引き下げるものです。

佐賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

高齢化等に伴う保険給付費の増加による財源不足を補うため、国民健康保険税の税率等を引き上げるものです。

佐賀市公民館条例等の一部を改正する条例

地域活動の拠点施設である公民館コミュニティセンター、生涯学習センター及び農村環境改善センターの36施設について、統一した算定方法により、使用料の見直し等を行うものです。

意見書

〔全会一致で可決〕

▼TPP交渉参加に反対する意見書案

▼北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書案

▼中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書案

〔賛成少数で否決〕

▼原発再稼働を行わないよう強く求める意見書案

▼生活保護基準の維持を求める意見書案